

就労選択支援事業所指定基準別表

(さっぽろ障がい者プランに定める重点取組「事業所の質の向上の取組」)

実施可否欄及び対応可能な障がい種別欄に○印を記入し、本用紙を提出してください

アセスメント実施手法	具体的な確認内容	実施可否	対応可能な障がい種別		
			身体	知的	精神
アセスメント実施計画書	事業所としてアセスメント実施計画書を作成し、それを活用して体系的に記録・判断できる ※アセスメント実施計画書(計画内容、実施方法、評価基準、就労アセスメント表、利用者へ提示するフィードバックの様式を含む)を添付	○	○	○	○
標準化検査	実施方法(ツール、手順など)を以下に記載 GATB、MSFASを使用する。GATBはアウトリーチ型のアセスメントにおいても用いることを想定する。MSFASは対象者との事前契約時に説明を行い、作業場面のアセスメント開始日までに記入を依頼し、記入内容に基づいて面談を行い、内容についての確認・整理を行うことを想定する。	○	○	○	○
職務(環境・課題)分析	実施方法(視点、ツール、手順、場面設定など)を以下に記載 ※環境と共に職務の内容や一連の流れ、構造を分析できること(ワークサンプル、模擬的的就労場面等と関連付けて実施できること。例えば「就労支援のためのアセスメントシート」における環境の視点を有すること) 就労支援のためのアセスメントシートを用い、環境に関するアセスメントも実施。各作業環境の特性についても対象者に説明をしたうえで、作業環境を設定。場面については希望があれば環境の再設定が可能であり、作業場や作業する事業所自体も変更可能、アウトリーチも実施可能。以上を通して対象者の環境適性を分析する。課題分析については、実施予定作業について作業工程および教示内容を統一し、作業観察時に用いてシステマティックインストラクションの視点でどの工程にどの程度介入量を必要としたかを記載していく。	○	○	○	○
ワークサンプル	実施している機器の種別(※)、実績(複数の使用年数・件数)及び具体的な実施・評価方法を以下に記載 ※ワークサンプル幕張版等 ワークサンプル幕張版を使用する。白石障がい者就労センタースカイにて幕張版ワークサンプルを必要に応じて実施した(2016年ごろより使用、凡そ2名の方に実施した)。その後、2017年ごろからワークサンプル幕張版をモデルにして、飲食店内のおしぼりたみ、OAソフトを応用し各種伝票入力、工賃計算などの作業を利用者のアセスメントとして実施している。今後の選択支援事業では、上記実績に基づき、作業場面のアセスメント期間中にワークサンプルを用いたアセスメント期間を対象者の同意のもと設定し、その評価に関してはワークサンプルの使用マニュアルに準ずることとする。	○	○	○	○
模擬的的就労場面	事業所で実施する場合にどのような環境で、どのような就労場面を設定できるか ※マニュアルや実績等の添付、または可能な手法を以下に記載 事業所内でレストランを経営しており、その環境にてアセスメントを実施することが可能。具体的には調理(包丁なども使用する、調理師の指導体制あり)、接客(オーダー取りなどの接客業務に加え、レジ打ち、コーヒードリップなどのドリンク作成)、配膳業務(オーダー・在庫管理、ご飯盛り付け)など。	○	○	○	○
職場実習	職場実習の実績があり、必要とされるアセスメントを実施できる(具体的な実績を以下に記載) 白石観光株式会社(白石区役所6F食堂での食器洗浄業務)、株式会社ベースクリエート(セイコーフレッシュフーズの物流事業)にて実習可能。 白石観光:職員1名が同行。下げられた食器を受け取り、食洗器を使用した食器洗浄を進めるため、道具の使用、就労上の体力、危険に配慮した行動などがアセスメントできる ベースクリエート:製菓パンの店舗ごとの仕分け業務。パンをバット内にならず、台車に積み込む、台車を運搬するなどフェーズごとに動きが変わるため、場面に応じた切り替え、状況判断、身体動作のスピードなどについてアセスメントができる。	○	○	○	○

※上記6項目中4項目以上の実施が可能であり、かつそれぞれの項目において複数の障がい種別に対応可能であることが必要

※どのようなアセスメントが実施可能なのか利用者に分かりやすく示すこと(例:別表を拡大等して事業所内に掲示、利用者に個別に配布・説明)

※記載欄が不足する場合は欄の追加または別紙の添付可